

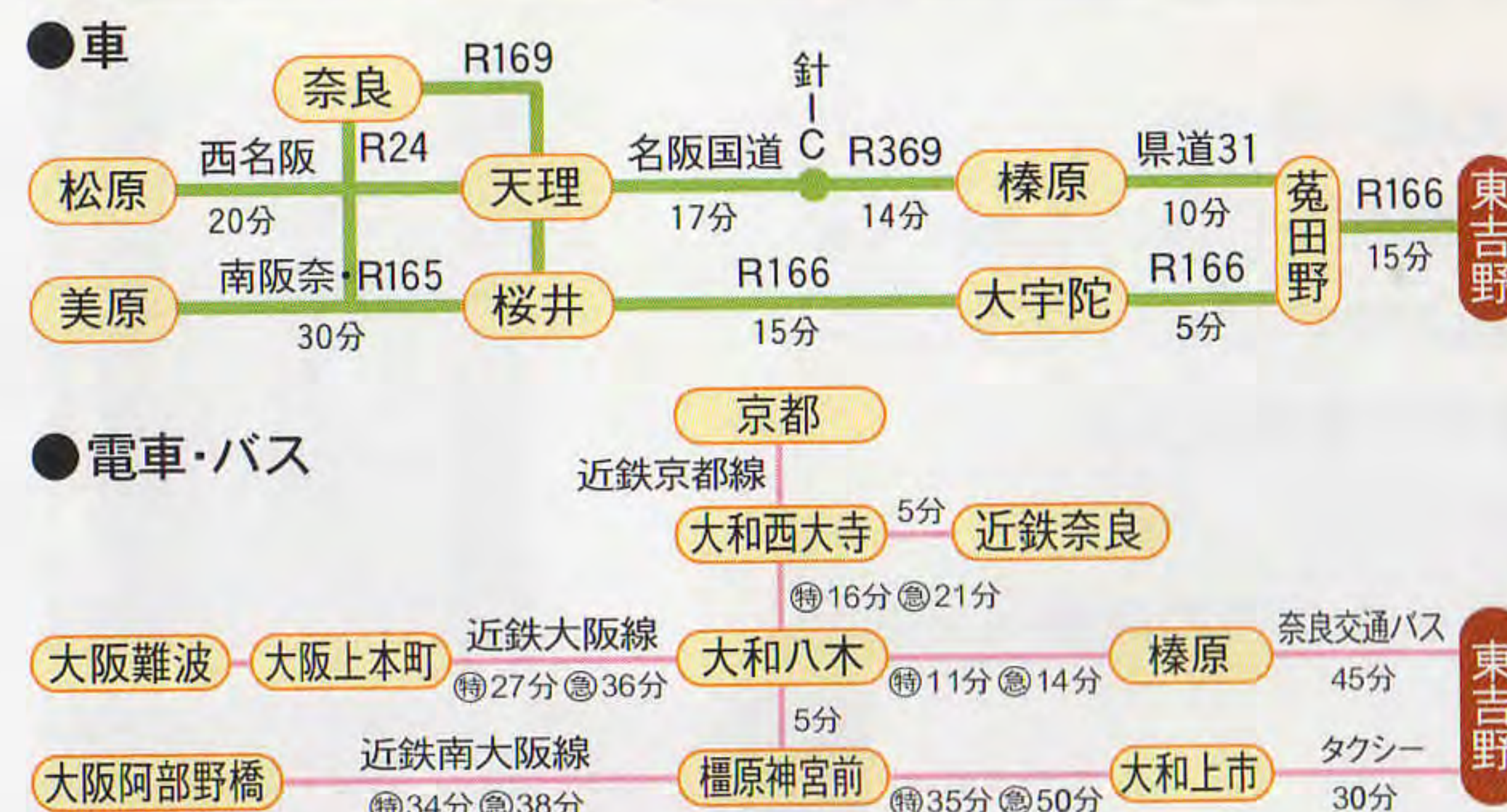


「冬菊のまとはおのかひかりのみ」
水原秋櫻子



- 21 月の出の木にもどろたき柱たち
- 20 日の神が青嶺の平照らします
- 19 おのづから伊勢みちとなる夏木立
- 18 みなかみにさびし高見の山は
- 17 朴の花たかだかと咲くまひるまを
- 16 酒のみに語らんかかる瀧の花
- 15 霊地にて天降るしだれざくらかな
- 14 大和の見えぬ国遠みかも
- 13 吾妹子をいざ見の山を高みかも
- 12 見えぬもみちの色そゆかしき
- 11 しら雲に峯はかくれてたかみ山
- 10 合流をはたしての緩冬芒
- 9 冬菊のまとはおのかひかりのみ
- 8 水替の鯉を盪に山桜
- 7 一本の林の前の朝桜
- 6 大峰の雪をよしのは春の風
- 5 鷹舞へり青嶺に隠れ現れて
- 4 おのれ照るごとくに照りて望の月
- 3 大空のうつろよぎりし堂かな
- 2 日のあたる色となりゆく山ざくら
- 1 満月のほたるぶくろよ顔上げよ
- 0 螢火やながれて水の音清き

- 佐藤 兔房
草間 時彦
日野 晏子
花谷 和子
鷹羽 狩行
阿波野 青畝
日野 草城
右城 暮石
松瀬 青々
進藤 一考
茨木 和生
水原秋 櫻子
上田 五千石
本居 宣長
石上 麻呂
能村登 四郎
松尾 芭蕉
前 登志夫
桂 信子
山口 誓子
鈴木六 林男



たかすみ温泉 大 人 500円(回数券/11枚綴 5,000円)
小人(小学生) 200円(回数券/11枚綴 2,000円)
※6才未満は無料 回数券5冊購入で1冊プレゼント!

たかすみ文庫 高校生以上 200円
入館料金

●午前11時～午後9時(たかすみ文庫は午後5時まで)
※但し、12月1日～3月15日は午前11時～午後8時まで

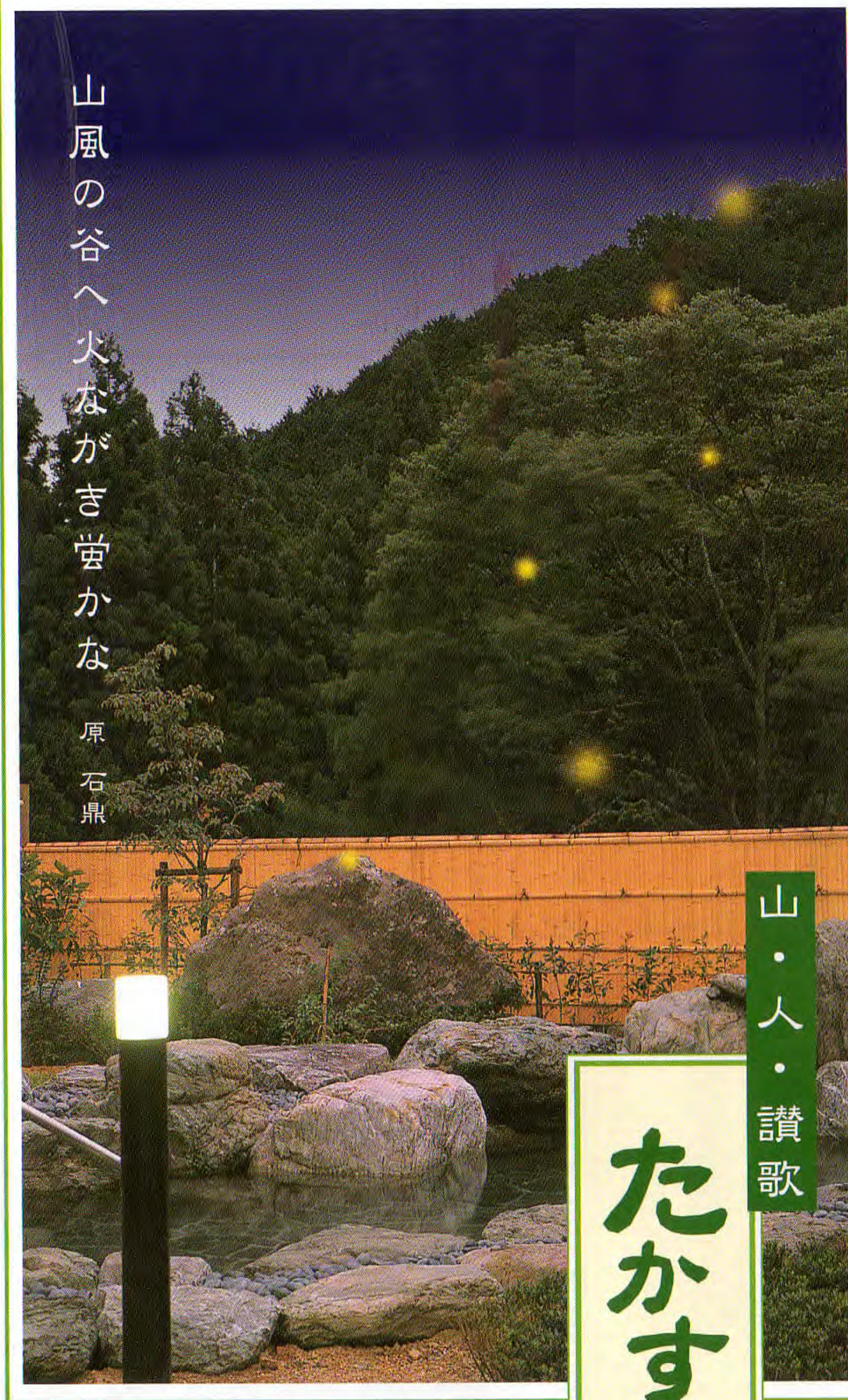
●定休日:木曜日
※但し、定休日が祝日にあたる場合は営業、翌日が休み・12月29日～1月3日は休みです。

お問い合わせ

たかすみの里 管理事務所

〒633-2303 奈良県吉野郡東吉野村平野

☎ 0746-44-0777



山風の谷へ火ながぎ堂かな 原石鼎

山・人・讃歌

たかすみの里



ひよしちゃん

奈良県東吉野村

名句に出会う。
出で湯にくつるぐ。
こころ癒す、
たかすみの里。

春桜、夏は堂、秋紅葉、
冬なお樹氷咲き乱れ…。
東吉野村の大自然をこよなく愛した人々。
その感動が俳句、歌となり今も息づく。
深吉野の情趣とあたたかな温泉に
ゆったりとつまれるひととき。
からだも心も癒す、たかすみの里です。

句碑・歌碑のある村へようこそ

- 41 水音のおくに水音堂わく
- 40 小豆千す筵に晴れて高見山
- 39 うぐいすや水を打擲する子等に
- 38 狼は滅び木霊は存ふる
- 37 こつぱりの子が衝羽根の實を拾ふ
- 36 生国はここも知れず蓬摘む
- 35 絶滅のかの狼を連れ歩く
- 34 深吉野の闇かきわけて蜜狩
- 33 よき潤へ下りる径あり宮涼し
- 32 瀧の水直ぐ透き通る神の淵
- 31 蛙の聲を聞こしめしけむ
- 30 離宮の行幸のたひに珍らしと
- 29 蟻通ひめす丹生川上
- 28 東の瀧もどろに夢の回淵
- 27 風の詩を碑として神涼し
- 26 頂上や殊に野菊の吹かれ居り
- 25 かなしきはひともしころの雪山家
- 24 あるときは一本に凝り夏の雲
- 23 花影婆娑と踏むべくありぬ岨の月
- 22 おのづから人澄む水の澄める里
- 21 国栖人の面をこがす夜振かな
- 20 梅雨茸に胸視かれし放下かな
- 19 先祖の積みし石垣仙翁花
- 18 小笠原和男
- 17 藤本安騎生
- 16 後藤 夜半
- 15 後藤比奈夫
- 14 原 石鼎
- 13 原 石鼎
- 12 原 裕
- 11 原 芳春
- 10 鍵谷 芳春
- 9 森口奈良唐
- 8 井上 通泰
- 7 山口 誓子
- 6 森田 峠
- 5 鷹羽 狩行
- 4 三橋 敏雄
- 3 宇多喜代子
- 2 茨木 和生
- 1 三村 純也
- 0 西東 三鬼
- 1 藤本安騎生
- 2 加古 宗也

木の香、森の香につつまれて。
山ふところの湯はゆったりあったか。

たっぷりのお湯は大自然からの贈り物。
木々の緑を眺めながら、体も心もリラックス。
休憩用に畳コーナーもご用意しました。
初めて訪れても、どこか懐かしい。
心のふるさとで、ゆっくりとお過ごしください。



マキ風呂



岩風呂



ヒノキ風呂

木の香りがすがすがしい贅沢なマキ風呂、ヒノキ風呂。自然のなかにすっぽりと包まれたような気分になれる露天の岩風呂。濃い緑の森を抜けてきた風と鳥のさえずり…。初夏の夕べにはホタルに会えるかもしれません。



たかすみ温泉

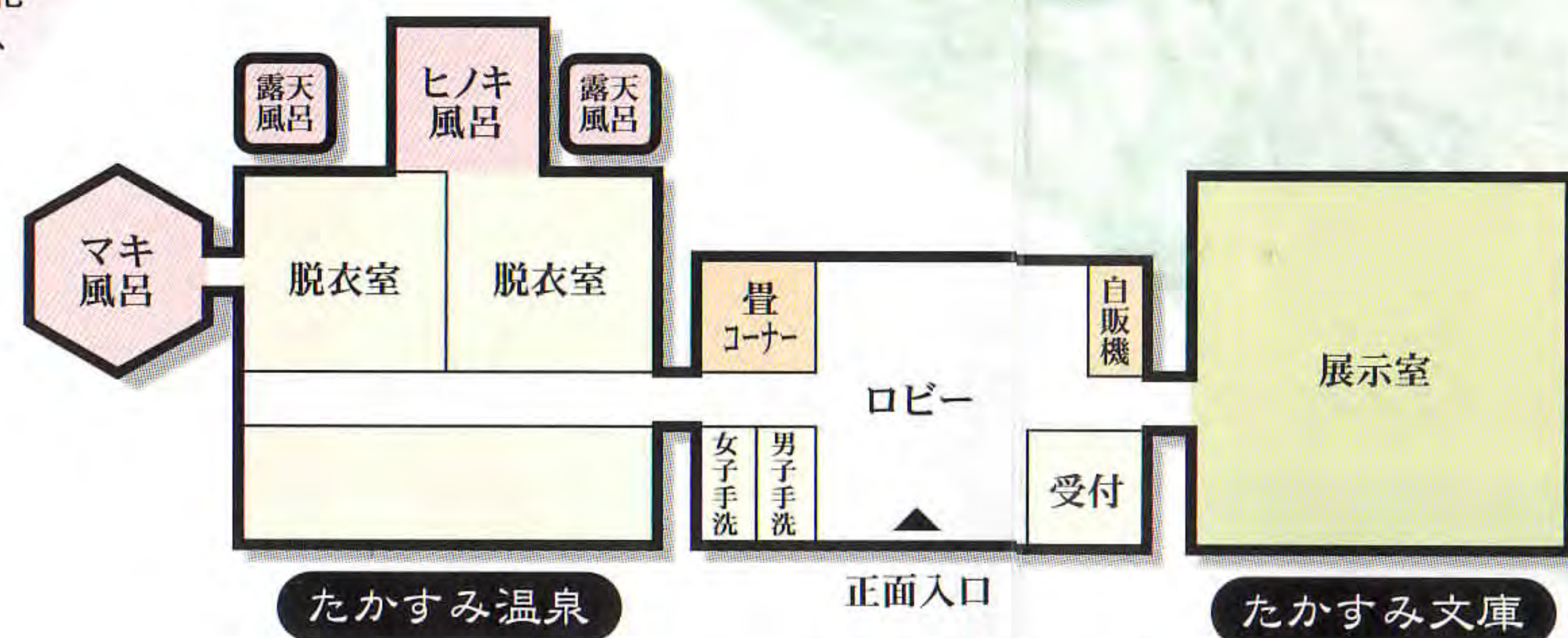


ロビー

畳コーナー

深吉野が育む文学の森。
その魂にふれるひととき。

各地に句碑や歌碑が建つ村。
四季の美しさは数多くの文人を魅了し、
さまざまな作品が蒐集されてきました。
自筆の俳句、書画や書簡などの
貴重な展示の数々。
静かな山里でゆっくりとご鑑賞ください。



たかすみの里 全館MAP



展示室

たかすみ文庫



展示室

たかすみ文庫では、著名作家の遺墨や書画など貴重な文化遺産を収蔵しています。俳人・山口誓子や田村木國、杉田久女、青木月斗、詩人・土井晩翠、そして深吉野に縁の深い原石鼎ほか数多くの作家の気品溢れる作品群。諸作品は適時展覧されています。

宝蔵寺(シダレザクラ)



薄紅色の春の精。

里に山に桜が咲き誇り、風景を薄紅に染める春。なかでも宝蔵寺のしだれ桜は樹齢約430年。たくましい幹から滝のようにしだれて咲く樹姿は見事。樹高約10m、枝張りは東西南北約10m。県内最大級の貴重な木です。

溪流



夏青葉、せせらぎに鮎。

高見川、平野川、四郷川。村内を流れる溪流は夏、緑を映し清涼感たっぷり。毎年6月第1日曜頃には鮎釣りも解禁に。釣り人たちが腕を競います。初夏はホタルの光の乱舞、子どもたちの川遊びの音がこだまします。

投石の滝



秋、錦衣まとう。

紅葉黄葉、鮮やかな秋の輝きが山を、村を彩りまさに絵巻物のよう。白馬神社の境内にある、投石の滝周辺も紅葉狩りのメッカ。落差15m、水量豊かにまっすぐに落ちる滝。水面は美しい錦色を映し、秋の風情が満喫できます。

高見山

白銀に樹氷咲く冬。

その名の通り、周囲にさえぎるものなく奥吉野、伊賀の連山が一望できる高見山。標高1,249m。最も魅力的なのは、冬この白銀の世界に咲き誇る関西屈指の樹氷、霧氷。深山の神秘的な表情を雪山ハイキングで—。

